

令和6年度 第22回 名取市総合教育会議 議事録

1 会議の年月日

令和7年2月17日（月）

2 会議の場所

仙台法務局名取出張所2階 名取市教育委員会 会議室4

3 出席者

市長 山田 司郎

教育長 瀧澤 信雄

教育長職務代行委員 荒井 龍弥

教育委員 洞口 ひろみ

教育委員 長澤 裕司

教育委員 布田 久美子

4 欠席者

なし

5 傍聴者

なし

6 説明のために出席した者

別紙のとおり

7 議題

(1) 名取市教育振興基本計画について

(2) 名取市立学校における重大事態について

(3) 部活動目的の区域外就学について

8 開会時間

午後3時00分

9 会議の概要

郷内教育部企画員兼教育総務課長補佐

定刻となりましたので、これより第22回名取市総合教育会議を開催いたします。

開催にあたりまして、山田市長からご挨拶を申し上げます。

山田市長

本日は、大変お忙しいところ、第22回となりました総合教育会議に、瀧澤教育長をはじめ教育委員の皆様にご出席いただき、ありがとうございます。

穏やかな年末年始を迎えられたこと、大変喜ばしく感じていたところですが、今月に入り強烈な寒波が日本を襲い、各地では積雪による大きな被害が出ております。

幸いにも、本市では積雪による大きな影響は出ておりませんが、路面が凍結している早朝などは、転倒や車のスリップ事故には、十分気を付けたいところです。

また、昨年12月以降、非常に火災件数が増えてきたりしておりますので、火の元の取り扱いについて留意していかなければいけないなと思っているところであります。

さて、本日の総合教育会議の議題は、「名取市教育振興基本計画」、「名取市立学校における重大事態」及び「部活動目的の区域外就学」の3つとなります。

本日も、教育委員の皆様方から忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、今後の教育行政、さらには市政発展のための方策とさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

郷内教育部企画員兼教育総務課長補佐

それでは、3の議題に入っております。ここから先は、名取市総合教育会議設置要領の第4条第3項により、市長が議長として議事を進めさせていただきます。

それでは市長、議事進行をお願いいたします。

山田市長

それでは次第に沿って進めてまいります。

本日の議題(1)、名取市教育振興基本計画についてであります。事務局より資料に基づき説明をお願いします。

山家次長兼教育総務課長

教育振興基本計画改定につきまして、ご説明をさせていただきます。お手元の方にお配りしております資料をご覧ください。

本市の教育振興基本計画は令和2年12月に策定しており、その計画期間は長期総合計画同様に令和2年度から12年度までの11年間としております。

1ページをご覧ください。

1ページ、箱書きの下にあるとおり、教育振興基本計画は名取市の最上位計画である第六次長期総合計画との関連を重視するため「教育・文化・スポーツの分野目標」の7つの施策項目を目標に据え、目標を達成するための「29の施策」を設定し取り組んでまいりました。

この長期総合計画が、令和6年度末で基本計画の前期期間を終え、7年度からの新たな後期基本計画のスタートに向け、成果指標等の見直しが行われたところです。

そのため、これまでの教育施策の進捗状況や・・・課題を踏まえ、また社会情勢の変化や時代の潮流を捉えながら、新たな第6次長期総合計画 後期 基本計画と整合を図るために、

教育振興基本計画の中間見直しを行うものであり、今年度末までの完了を予定しています。

この後の説明の中では「長期総合計画」を「長総」と略させていただきますのでご了承ください。

基本的には、長総で修正した箇所は、整合を図るため教育振興基本計画も同様に修正して参りますが、下の第3節、計画期間にあるとおり、計画の最終年度は変更することなく、長総と同じく2030年までの6年間の計画とします。

次の2ページからは、計画、前期5年の振り返りとなりますが、これまでに既にご説明させていただいておりますので、振り返りとして要点を絞って進めてまいります。

2ページ、(1)の「人口」は、長総では2024年で82,200人達成を目標としていましたが、実際には79,775人と、約2,400人及ばない状況となっています。

(2)の「児童生徒数」は、2020年の教育基本計画策定時点ではゆるやかに増加していましたが、2021年をピークに、減少に転じました。

次のページは学校ごとの児童生徒数の推移です。

増田、館腰、愛島、相互台は、宅地造成等に伴い増加していますが地域人口が減少している高館、ゆりが丘、那智が丘は、児童数も減少しています。

4ページ、成果指標の達成状況です。長総では「教育・文化・スポーツ分野」で20個の成果指標を掲げておりますが、12年度目標値をすでに達成したものが6項目、中間値達成が3、中間値未達成が6、当初の基準値を下回ったものが5項目ございました。

5ページは長総の市民意識調査の結果です。15歳以上の市民、4,000人を無作為抽出し、実施したものです。グラフ①の学校教育環境の充実は、満足度が下がっていますが、全体的には満足度が向上した結果となりました。

次に7ページです。今年度、生涯学習に関する市民意識調査を行いました。18歳以上の市民、2,000人を無作為抽出し、実施しております。結果が教育振興基本計画に影響するものを抜粋しています。

8ページ、生涯学習をしたい施設や方法ですが、市内公民館で学習したいという意見は前回も今回も一番多かったところですが、ついで「インターネットを通じて」が36.7%、次の「自宅での学習活動」が33.3%、この二つが前回から大きくポイントを伸ばしております。

また、下の緑のグラフですが、生涯学習の学びの形態として、「リアルタイムで対面で」が46.4%と最も高くなっているものの、次の、オンデマンドを希望する声、また、自分の好きなタイミングで、書籍などで学びたい、この3つが同じ位の割合で希望されている、という結果でした。

9ページでは本市教育の課題として、1から5まで、5つの課題を挙げております。(1)人口減少と少子化の進展最後の段落ですが、このまま人口減少が進展した場合には、地域のつながりの希薄化や学校の統廃合など教育を取り巻く状況の変化も予想されます。(2)新型コロナウイルス感染症の感染拡大とDXの急激な進展、(3)いじめや不登校の問題、(4)家庭環境や地域社会の変化、地域のつながりが希薄化し、子育て家庭の社会的孤立や、家庭や地域の教育力の低下が懸念されています。

子育て家庭を社会全体で支え、学校・家庭・地域が連携・協働してこどもを育てる環境づ

くりが求められます。(5) 文化芸術・スポーツへの関心の高まり、文化芸術やスポーツは、心の豊かさや心身の健康にもつながるものであり、今後も文化芸術・スポーツ活動を推進していくことが求められています。

ここまでが前期5年の振り返りです。

次の10ページは、計画目標についてとなりますが、11ページをご覧くださいながらご説明します。11ページをお開きください。

一番上に、長総の本市の将来像「愛されるふるさと なとり ～共に創る 未来へつなぐ～」があり、これを踏まえ、教育振興基本計画の最終年度における「目指す姿」を定めています。そして緑色の「7つの目標」は、長総との関連性を重視し、長総に掲げる施策項目7つを、そのまま目標として据えたものですそれぞれの目標に、達成のための施策、全部で30項目を設定しています。現在の計画では29項目ですが、今回の見直しにおいて、一番下に「7-4 新たな市史の編さん」を追加しております。

次の12ページ以降には、30項目の施策、それぞれの、方針や取り組みについて記載しています。

16ページをご覧ください。

この16ページからの「第4節 目標における成果指標、主要施策、今後の方針・取り組み」が、今回の改訂の中心となる部分です。なお、こちらの計画は、今後見え消し部分を削除するなど精査して参りますので、レイアウトなどは変更となりますこと、ご承知おき願います。

目標1、学校教育の充実ですが、目標に対し、黒丸で示している、目指す姿（ゴール）、施策の方向（ターゲット）、成果指標（インディケーター）、目指す姿の達成に向けた課題、を目標ごとに設定していますが、これは長総と同じ項目となっており、合わせる形で修正をしております。成果指標、インディケーターについては、これまでの進捗状況を踏まえ、既に、当初の令和12年度目標を達成しているもの、目標達成間近であるものについては、目標の上方修正等を行っております。これら黒丸●の部分についてはすでにパブリックコメントを実施しておりますが、寄せられた意見はございませんでした。

なお、黄色のマーカ一部分が、長総に合わせて修正を行った箇所となります。

17ページ、中ほどに1-2、次のページに1-3、とあるものが、12ページでご紹介しました30の施策項目です。

項目の下に、白丸で記載しているものが施策の内容で、その下、【今後の方針・取り組み等】には主要施策を実現するための方向性、方策、具体的な事例や取り組みを記載する、といった構成になっています。

なお、次の18ページにあるような、青いマーカ一部分については、振り返りの結果や成果指標の修正に伴い、今後の取り組み内容に修正が生じたものや、計画策定の令和2年以降の進捗状況に合わせての時点修正等を行った箇所となります。

ここでは、コミュニティスクールの導入を検討する、としていましたが、館腰小学校においてモデル事業に着手しましたので、今後、対象校の拡大に向けて検討する、と修正したものです。

20ページをお開き下さい

目標 2、教育環境の整備では、成果指標の修正のほか、下の青のマーカですが、市民意識調査の結果として、「学校教育環境の充実」の満足度が低かったことから、ハードとソフト、両面からの環境整備が求められている、と修正しています。

21 ページ、真ん中の青い部分、学校へのエアコン設置について、エアコンの普通教室への設置は完了しましたので、今後は使用頻度の高い特別教室への設置についても検討するとなりました。

またその下には、令和 6 年度に高館小学校において、プールの老朽化に伴う民間プール施設における水泳指導のモデル事業を実施しました。今後は大規模校におけるモデル事業を実施するとともに、今後の学校プールのあり方について検討します。こちらを新たに追加しました。下の黄色の部分、今回、長総においても新たに追加した項目となります。学校内の別室や、こどもの心のケアハウス「はなもも教室」等、学校内外での居場所の確保を通じ、学校に登校できない児童生徒が安心して学べる環境づくりを行います。

また 22 ページ、「重大事態発生の際は迅速に体制を確立すること」も新たに追加した項目となります。

次に 25 ページです

上の青い部分ですが、先ほど、本市教育の課題の一つとして地域のつながりの希薄化、家庭や地域の教育力の低下を挙げましたが、課題解決の取組として追加しております。

地域の中で親同士の交流や仲間づくりの機会を作り、家庭教育に関する情報提供や情報発信、相談対応等の機会の拡充を図ります。

また、中段には、子どもたちや地域の人々の居場所や地域交流の場となるこども食堂などを活用した、新たな学びと交流の場の創出を検討します。その下には、現在公民館でも取り組んでいる多世代交流の推進を追加しました。

26 ページ、中段、青少年の悩みや困りごとの相談窓口として、「Eメール相談の周知を図る」ことを追加し、また子供たちの居場所として、公民館等を活用するなどの環境づくりについて追加しています。

次に 28 ページです。

目標 4、生涯学習の推進、真ん中の青マーカ一部分、先ほどの生涯学習意識調査のアンケート結果を受けての追加となりますが、今後は、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型の学習環境を整備しより多様な学習機会を創出する必要があり、また、学習機会に関する情報をより多くの市民に届けるため、SNS などデジタル媒体も活用した多様な手段による情報発信の充実が求められていることを記載しました。

29 ページでは、公民館や図書館と市民活動支援センターが連携し、地域活動団体や市民団体に適切な助言や情報発信をできるような体制づくりに努めることを、また中段には、図書館の閲覧スペースの拡充など利用環境整備を進めること、下には新たに「まなびフェスティバル」と、次のページには「まなびパスポート事業」について追加しました。

次に 31 ページです

一番下、5-1 スポーツに親しむ機会の充実、に、黄色い部分、「本物のスポーツに触れる機会を創出し、スポーツの裾野を広げます」を追加していますが、ここは、長総でも新たに追

加した施策となります。

次に 33 ページ、一番下ですが、この項目は以前からございましたが、文中に「文化芸術活動団体等の育成支援を図る」ことを追加しました。

最後に 36 ページですが、一番下に、「7-4 新たな市史の編さん」を追加しています。

これまでは、その上の、「7-3、保存活用環境の整備充実」の一部として記載されていた内容を、長総で外出したことにあわせ、新たに 7-4 として記載しています。

修正箇所の説明は以上となりますが、最後に、15 ページをご覧ください。

下の第 3 節の部分です。「主要施策については、教育基本方針において具体的施策として毎年度定めることで、変化するニーズに対応した取組を推進します」としています。

大きな柱としてこの教育振興基本計画を定めますが、その時々々の社会状況や変化に対応した取組は、毎年見直しを行っている、教育基本方針に盛り込んでいくことで、その時々にあった施策を展開して参ります。

説明は以上となります。

#### 山田市長

ただいまの説明を踏まえて協議を進めてまいります。

説明にもあったとおり、今回の改訂は本市の長期総合計画の見直しに伴い、16 ページ以降の第 4 節「成果指標」、「主要施策」、「今後の方針・取り組み」を中心に改訂を行うもので、16 ページ以降の内容を中心に、ご意見やご提案などを伺ってまいります。

説明の中でもありましたが、黄色のマーカー部分については、長期総合計画の後期計画の修正に合わせて修正をする箇所となりますので、変更は非常に難しいと思います。

水色のマーカー部分について、ご意見等があればお願いいたします。

布田委員。

#### 布田委員

24 ページの成果指標インディケーターの中間値と現状値ですが、中間値が 1,500 人となっていて、現状値が 17,154 人となっているのですが、これは中間値に達しているのではないかと。

中間値に達しているのであれば、4 ページの目標別成果指標の達成状況の目標 3 家庭・地域の教育力の向上で、中間値未達となっているのはなぜでしょうか。

#### 佐藤生涯学習課長

今回、成果指標の設定を変更させていただきました。

中間値 1,500 人は、地域学校協働活動に登録しているボランティア数となりますが、今回からボランティアに参加した延べ人数をカウントする方法に変更しました。

変更の理由としては、ボランティア登録はしているが、参加していない方もおり、実際に参加したボランティアの数を指標にした方が適正な数値であると判断し、延べ人数ということで変更しました。その延べ人数、ここでは現状値となりますが、それが 17,154 人となり、登録の人数は実際のところは 1,295 人となっており、中間値 1,500 人に達していないという

整理となりました。

布田委員

わかりました。

山田市長

その他、何かございますか。

洞口委員、何かございますか。

洞口委員

学校別の児童生徒数に差があり過ぎるのではないかということがあります。小学校、中学校とも同様ですが、特に高館小学校が少なくなってきております。

例えば、愛島小学校の児童を分散させるなど、もちろん地域住民の方々のご意見もあるかとは思いますが、学区のバランスを見ていただいて、高館小学校をより良く活気ができるように配慮しなくてはならないと思います。

また、増田小学校もかなりの人数となっておりますので、下増田小学校の方に分散させるなど、今後の課題ではないかと思っております。

そうすることにより、学校での生活がより良く過ごせる児童生徒が増えてくるものと考えております。

山田市長

ありがとうございました。

今日の議題は教育振興基本計画についてということですが、洞口委員から問題提起ということでいただきましたので、この点で何か教育長の方からありますか。

瀧澤教育長

市全体の児童生徒数から見れば、現在は横ばいに近い状態ではありますが、今後、減少に転じると予想されます。

高館小学校については私も心配をしております、再来年の入学する児童が、5人程度しかないことも聞いております。

1年生が入る場合は複式学級の基準がかなり低いので、すぐに複式学級になるという状況ではありませんが、今のままで推移すると、いずれ複式学級ということも考えなければならぬと思っております。ただし、高館地区でも将来、開発の計画があると伺っておりますので、その関係で一定の児童数は確保できるのではないかと考えております。

また、那智が丘小学校で現在、単学級になっており、ゆりが丘小学校でも2学級、これから児童数が減ってくるのではないかと考えております。

そのようなところも含めて、学校規模と地域との関わり観点で考えたときに、学区というものをどのように考えていったらいいかというのは大きな課題であると思っております。

現時点で学区の編成替えについては、具体的に検討はしておりませんが、課題として、教育委員会全体で考えていかなければいけない点だとは思いますが。

山田市長

問題提起いただきましたので、そのことについて引き続きご検討いただきたいと思います。他にいかがでしょうか。

長澤委員、何かございますか。

長澤委員

ここまでの前期は取り組みが順調に推移してきていると見て取れますが、今度は後期に入り、検証の仕方で、前期と同様に、無作為抽出のアンケート結果で把握するという流れでよろしいのでしょうか。

山家次長兼教育総務課長

長期総合計画と終期を一緒にしておりますので、また長期総合計画で新たなものを作る際には市民アンケートをとることになります。

その際に、同じ教育の項目を入れていただいて、結果の検証をしていきたいと考えております。

長澤委員

検証の結果としてポイントの増減がありますが、例えば、評価の指標で5ポイント増加したら、これは優位的な結果であるとか、あるいは4ポイントだったら、これはもう優位的に捉えても良いと、概ね満足であろうというような基準などはありますか。

山田市長

長期総合計画でいうと、愛されるふるさと名取ともにつくり未来へつなぐというのが2030年度における、あるべき将来像ということにしています。

愛されるふるさと名取をつくるために、それぞれの分野でそれぞれ必要な項目について、必要に応じて数値目標などを立てて、それに対して、その元になったデータの年と、中間値と、それから最終の姿ということで、項目によっては前倒しで進むものもあれば、遅延しているものもあり、全体の見直しの中で、現在は中間に当たるので、後期についてより良い形で、教育振興基本計画で言うところの目標に向けて、数値目標も含めて、指標を出しているということなので、その目標値をまずは超えるというのが目標となり、それらを全て達成していくことで、総合的に教育の振興が進んでいるという判断をすることだと思えます。

長澤委員

わかりました。ありがとうございます。

山田市長

荒井委員、何かございますか。

荒井教育長職務代行委員

特に指摘するところは見つけれませんでした。学校教育環境の充実という点から、学校施設の整備について、昨年、増田中学校を他の教育委員と伺った際、生徒から施設が古いので何とかしてほしいとの声が多数あり、その点ぜひよろしく願いいたします。

山田市長

施設の整備については、市長部局と教育委員会で、それぞれ施設の長寿命化と施設の整備基本方針など、年次計画で進めているという現状であります。少なくとも今回のアンケート調査の中で、学校施設に関する整備を望む声が強かったと言うことは、その通り受けとめておりますので、全体の中で見ていきたいと考えております。

教育長、何かございますか。

瀧澤教育長

この5年間を見ると新型コロナウイルス感染症の影響や夏の猛暑、熱中症の問題が大きかったと思います。様々な社会活動や教育活動が制限される中で、達成が難しかった目標もあります。感染症や猛暑を理由にできないような課題もあったと思います。例えば、いじめや不登校の問題というのは、別の次元で考えなければいけないと思います。

今回ある程度5年間振り返りができたと思いますので、これからの5年間を見たときに、先ほど洞口委員からお話があった児童生徒数の減少ということも視野に入れなければいけないし、ICTがこれからますます学校現場に入ってくるのではないかと考えます。

2030年度から学校の教科書がデジタル教科書も公式に認められるというような話であるとか、公民館の講座がインターネットも活用したハイブリッド型にしていかなければならないのではないかなど、社会の変化を先取りしたような、今後の見通しや計画というのも考えていかなければならないと思いますので、引き続き各教育委員のご意見や、市長部局の方とも情報共有しながら、取り組んでいきたいと思っております。

山田市長

その他、何かございますか。

全委員

なし

山田市長

では以上で終了とさせていただきます。

次に、本日の議題（2）名取市立学校における重大事態について及び議題（3）部活動目

的の区域外就学についてですが、名取市総合教育会議設置要領第8条に基づき、非公開にしたいと思います。ご異議ございませんか。

全委員

なし

山田市長

異議なしと認め、これより非公開といたします。

※「名取市総合教育会議設置要領」の第8条に基づき非公開

以上で、本日の議題についての会議は終了とさせていただきます。ありがとうございました。次に4、その他ですが事務局に何かございますか。

郷内教育部企画員兼教育総務課長補佐

特にございません。

山田市長

ないようでありますので以上で終了いたします。ありがとうございました。

10 終了時刻

午後3時54分